

# 『日本近代図書館学叢書』

混迷の時代の中、図書館はどこへ向かえばいいのか。  
知の集積かつ共有の場としての図書館の専門性とは何か。  
名著を読みやすい現代表記で復刊! (全6巻・分売可)

## 第1巻 図書館教育

田中 敬・著

A5判・上製クロス装・函入  
定価:本体5000円+税  
ISBN978-4-86330-174-0

図書館は社会に、そして教育に奉仕する存在である!

2017年1月刊 好評発売中!

日本で初めて「図書館学」(Library Science)を本格的に志向した日本図書館学の金字塔。本をただ保管するのではなく、いかに活用していくかが重要だというパラダイム転換をもたらした名著。「開架式(open shelf)」「参考司書(reference librarian)」など、現代でも使われる多くの訳語を作り、それを定着させたという、図書館学を論じる上で外せない一冊!

## 第2巻 図書館の対外活動

竹林 熊彦・著

A5判・上製クロス装・函入  
定価:本体6000円+税  
ISBN978-4-86330-175-7

図書館はただ文書を保存するだけでなく、広く「奉仕」する存在になるべきである。1950年に成立した図書館法にも記された、この「図書館奉仕」の理念をどうすれば具現化できるのか? 戦前・戦後の転換期に日本の図書館を支え、改革を行った竹林熊彦が、図書館の対外活動を理論から実務まで詳述!

2017年4月刊 好評発売中!

## 第3巻 図書館管理法大綱

和田 万吉・著

A5判・上製クロス装・函入  
定価:本体6000円+税  
ISBN978-4-86330-176-4

日本で初めて大学で図書館学の教鞭を執った、和田万吉。日本の図書館学の創成期、公共図書館の無料提供の原則や、図書館員の地位向上についても論じた、先見の明の光る講義録をここに復刊! 現代の図書館を取り巻く問題にも通じる名著!

2017年6月刊 好評発売中!

## 第4巻 教育と図書館

植松 安・著

A5判・上製クロス装・函入  
定価:本体6000円+税  
ISBN978-4-86330-177-1

様々な理由で希望する「学校教育」を受けられなかった人にも、図書館は「教育」を提供できる。関東大震災で被災した東京帝国大学図書館の図書救出および復興に尽力した植松安の名著を復刊! 附録に、図書館史上重要な「図書館設立ニ関スル注意事項」(いわゆる「小松原訓令」)などを収める。

2017年7月刊 好評発売中!

以下続刊

## 第5巻 図書館の統計

小畑 涉・著

A5判・上製クロス装・函入  
予価:本体6000円+税  
ISBN978-4-86330-178-8

「近代的な科学的経営の為には、統計的な思考と統計的な訓練とが是非とも必要である」(本書より・小畑涉)。図書館の統計学を得意とし、同志社大学図書館学講習所の講師として戦後の図書館司書講習制度の確立に貢献した小畑涉による、図書館統計学の解説!

2017年末刊行予定

## 第6巻 図書の選択—理論と実際

竹林 熊彦・著

A5判・上製クロス装・函入  
予価:本体6000円+税  
ISBN978-4-86330-179-5

「図書館はすべての検閲に反対する」。しかし、司書は図書を選ばなければならない。予算の制限もある。ならば司書はどのように図書を選べばいいのだろうか? どのような本を揃えれば図書館の機能は向上するのだろうか? 激動の時代に日本の図書館を支え続けた竹林熊彦が、選書の理論と実際について詳説する!

2018年3月刊行予定